# 20年後の公共サービスと公共施設を考える

## ― 公共施設等マネジメント推進委員会スタート ―

与謝野町では、町内の公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進し、その最適化を図るため、「与謝野町公共施設等マネジメント推進委員会」を設置しました。9月27日に第1回目となる会議を知遊館で開催し、山添町長から川勝健志委員長に対して上記のとおり諮問しました。早期の答申に向けて、今後、毎月1回程度の会議を予定されています。

**《諮問》**

人口減少・少子高齢化や社会情勢の変化、公共施設の老朽化の進行、町の厳しい財政状況等を踏まえた持続可能なまちづくりを推進するため、本町の公共施設等のマネジメントの推進に関し、次の事項について、貴委員会の審議を求めます。

**《諮問事項》**

1 おおむね20年後の公共サービスのあるべき姿およびそれを実現するための公共施設のあるべき姿（配置、量等）について

2 あるべき姿を実現する公共施設の配置のロードマップについて

第１回目の委員会の様子

**委員の紹介** ※ 敬称略

| | |
|---|---|
| 委員長 | 川勝 健志 |
| 副委員長 | 岸部 敬 |
| 委員 | 青木 一博 |
| 〃 | 青山 公三 |
| 〃 | 足立 経彦 |
| 〃 | 佐々木 和代 |
| 〃 | 杉岡 秀紀 |
| 〃 | 西川 明宏 |
| 〃 | 安岡 孝子 |
| 〃 | 山﨑 哲典 |

# 住みよいまちづくりに向け京都府へ要望

## ― 令和５年度予算 京都府知事要望活動 ―

令和５年度予算の要望活動を行うため、10月17日、山添町長が中島武文京都府議会議員とともに西脇隆俊京都府知事を訪問しました。西脇知事からは「北部医療センターに医師を増員し充実してきた。病院機能の検討会議を設置したので、この会議の中で診療科目の拡充等をしっかり検討していきたい。また、看護学校は北部の生涯教育拠点として整備していく考えであり、施設整備計画は北部医療センターと一体的に検討したい」などの発言がありました。知事のほかに、副知事や関連する部長を順に訪問し要望活動を行いました。

西脇知事（左）に要望書を手渡す山添町長

### ―― 西脇知事への要望事項（抜粋） ――

【地域医療の充実に係る京都府立医科大学附属北部医療センターの機能拡充】

■ 脳神経外科の体制整備、発達障害の診断・治療から療育との連携強化のため小児科・精神科の充実などの診療科目の拡充、さらには遠隔診療の導入による高度専門医療の提供

■ 医療需要・疾病構造の変化に対応するための医療提供体制を考慮した早期の施設整備計画の策定

【子育て環境日本一について】

■ 子育て支援医療制度について、府内全体で平準化するために京都府制度を充実し、さらに対象者を親にまで広げる支援策などの検討

■ 子どもが安心して暮らせる京都府づくりのために児童相談所の機能増強

■ 北部医療センターへの療育センターの設置等、丹後地域における発達障害の診断・治療・療育の強化に係る方策の実施



# 町が進める SDGs について生徒と意見交換

## ― 加悦谷学舎生徒と山添町長との対話授業 ―

15回目となる「町長対話授業」を10月7日、宮津天橋高校加悦谷学舎で行いました。

今回も昨年と同様に生徒会を中心に実行委員会を立ち上げ、企画・依頼・当日の運営までを生徒自身が行いました。前半は山添町長からＳＤＧｓ（Sustainable Development Goals／持続可能な開発目標）に関する町の取り組みとして、「8 働きがいも経済成長も」「13 気候変動に具体的な対策を」についてスライドを交えて講話。経済成長に関する取り組みについては、与謝野町中小企業振興基本条例の制定やホップ栽培・クラフトビール産業の振興、自然循環型農業の推進を紹介。気候変動に対する取り組みについては、第２次与謝野町地球温暖化実行計画や世界気候エネルギー首長誓約、ペットボトルの水平リサイクルなどの取り組みを紹介しました。気候変動に対して「一人ひとりが関心を向けるだけで大きな変化に結びつけられる。ＳＤＧｓは身近なところから始められるので、自分たちが取り組めることを考えて生活を送ってもらえれば」と生徒たちに伝えました。

参加した５人の生徒にスライドを交えて説明する山添町長

後半の質疑応答では、「二酸化炭素を減らすためにどのような取り組みをしているのか」「阿蘇海のカキ殻清掃で回収したカキ殻の処理方法」などSDGsに関する質問や、「若者が遊べる場所を作って欲しい」と高校生らしい質問もあり、和やかな雰囲気で対話授業を終えることができました。

● 第10期丹後きものクイーン

## ３人のクイーンが丹後織物等をＰＲ

与謝野町出身で丹後きものクイーンに任命された白須さん（中央）

10月18日、丹後織物工業組合で開催された第73回丹後織物求評会オープニングセレモニーにおいて「第10期丹後きものクイーン」のお披露目が行われました。クイーンの任期は２年で、地域内外での和装・観光イベントなどに参加しながら、丹後織物や丹後地域の魅力を発信する役割を担っています。

今回、11人の応募者からクイーンに任命されたのは３人。与謝野町出身で京都市内の大学に通う白須月菜さんは「大好きな地元のために得意な英語をいかして、海外に丹後ちりめんをＰＲしたいです」と抱負を話してくれました。

● 与謝野町敬老会

## ３年ぶりの開催、約100人が参加

どじょうすくいの踊りを披露する露の眞さん

「生き生きと人と交流すること」が大切だと考え、新型コロナウイルス感染症の影響で令和２年度から開催を見送っていた与謝野町敬老会を、10月19日、野田川わーくぱるで開催しました。

当日は、山添町長のあいさつ、宮﨑有平町議会議長の祝辞に続き、長寿の秘訣として「日常にはない刺激を受けること」のできる機会として、上方落語協会の露の眞さんによる、落語・踊りの公演を行い、会場は笑いと拍手に包まれていました。

高齢者の皆さんが、これからもますますお元気で、生き生きと長生きしていただきますよう、心からお祝いとご祈念を申し上げます。